

「森にめぐりのち」(EK7)

片山 令子／文 姉崎 一馬／写真 フェリシモ



森の中の大きな木。はるか昔からそこに立っていた。やがてその木は倒れ、森に空いた窓から光が射す。寿命を終えた巨木は土となり、次に生まれる命を培う。

豊かな森の息吹を感じる、美しい写真絵本。

でかぞうクラブ

つくって飛ばそう！紙ヒコーキ大会

日時：3月22日（日）

13:30～15:00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学生 定員：20名

費用：無料

申込み：3月8日（日）9:00から

狭山台図書館へ（電話可）

おはなしの庭

春のおはなし会 すばなし

日時：3月27日（金）

11:00から30分くらい

内容：東京子ども図書館の

浅見和子さんによるすばなし

場所：中央図書館

対象：小学生から 定員：なし

費用：無料 申込み：不要

さやまの100冊



「子どものときに読みたい本100冊」（さやまの100冊）は、狭山市の教育委員会がおすすめしている本です。

= 休館日のご案内 =

【中央図書館】

☆3月☆2・4～10・16・23・30・31日

☆4月☆6・13・20・27・30日

【狭山台図書館】

☆3月☆1～3・9・23・31日

☆4月☆13・27・30日

狭山市立図書館

中央図書館

☎ 04-2954-4646

狭山台図書館

☎ 04-2958-3801

狭山市公式ホームページ

<http://www.city.sayama.saitama.jp/>

よむぞうタイムズ

77号

5年生 6年生

狭山市立図書館 2020.3.1発行

春が来た。
寒い冬の間、じっとしていた木々や草花のかたいつぼみがふくらみ出す。
あなたの周りでも、たくさんの生命が動き始めるよ。
さあ、春を探しに出かけよう。



「さくら研究ノート」(J479C)

近田 文弘／著 大野 八生／絵 偕成社



日本を代表する花「さくら」。みんなも知っている「ソメイヨシノ」は、葉っぱが出るよりも先に花が咲く。つぼみはほんのりピンク色なのに開いた花びらは真っ白なんだって。さくらの魅力はきれいな花だけじゃない。秋にはあざやかな紅葉を見せてくれる。この本を読んで、もっと「さくら」を楽しもう！

「さくらのカルテ」(JP+)

中澤 晶子／作 ささめや ゆき／絵 汐文社

サクラハナ・ピラ先生は、さくらのお医者様。世界でただひとりのさくら専門の精神科医だ。カルテには治療したさくらたちのつぶやきがぎっしり。
世界中をまたにかけ、時代さえもとびこえて活躍する先生が、さくらたちの意外な悩みを解決する。



「種をまく人」(JF7)

ポール・フライシュマン／著
片岡 しのぶ／訳 あすなる書房



アパートに囲まれた汚い空
きたな
き地。ひとりの少女が数つ
ぶのライマメをまき、窓から
見守る老婦人が「枯れない
りんじん
ように水をあげて」と、
隣人に頼み…。

小さな緑が孤独な人々の心
こどく
をいやし、マメがつるを伸ばすように人と人
がつながっていく。ほんの小さな一歩が世界
を変えてしまうこともあるんだ。

「ふしぎな銀の木」スリランカの昔話(EJ7)

シビル・ウェッタシンハ／再話・絵 松岡 享子／訳
市川 雅子／訳 福音館書店

すばらしい銀色の木の夢をみた王さまは、三人
の王子にその木を探してくるよう命じた。末の
王子は、森で瞑想している隠者に出会い、神秘



の洞窟に向かうよう教えら
れる。「そなたの命がきけ
んにさらされたときは、こ
のたねを手のひらにのせて、
わが身の無事を一心に
ねがうのじゃ」。種を手に
王子は、勇ましく洞窟を指
した。

「菜の子先生がやってきた!」 学校ふしぎ案内・つむじ風の一学期(JPT) 富安 陽子／作 YUJI／画 福音館書店



春休みの校庭、菜の子先生が
「きちんとならびなさい」と
叫びながら、桜の木を数えて
いた。一本足りないらしい。
春風が吹いて気分がウキウキ
すると、桜に限らずはめをは
ずすものが出てくるんだっ
て。さあ、菜の子先生と学校
中を大搜索!

菜の子先生のシリーズ(JPT)は、「菜の子先生は
大いそがし!」、「菜の子先生はどこへ行く?」、
「菜の子先生の校外パトロール」もあります。

「わたしは樹木のお医者さん」 木々の声を聞きとります(J654イ) 石井 誠治／著 くもん出版



ちりょう
樹木の治療をするお
医者さんがいるって
知ってる?

私たちは庭や公園、
通りの木々に、心を
なごまされている。
でも、その樹木は、
人間の都合で自然と
は違った環境に置か
れているんだ。そんな木々が健やかでいら
れるように、もの言わぬ木の声を聞く樹木
医がいるんだよ。



「あぐり☆サイエンスクラブ:春」 まさかの田んぼクラブ!?(JPCホ) 堀米 薫／作 黒須 高嶺／絵 新日本出版社

あぐり☆サイエンスクラブ。
「あぐり」ってなんだ?
科学クラブに参加したつもり
が、活動場所はまさかの田ん
ぼ。先生は農家のおじさん
だって!はだしの足が泥に沈
む。初めての田植えに悪戦苦
闘。理科の勉強だけが科学
じゃない。



続きの「あぐり☆サイエンスクラブ:夏」(JPC)、
「あぐり☆サイエンスクラブ:秋と冬、その先に」
(JPC)も読んでみてね。

「春の妖精たち」 スプリング・エフェメラル(J470オ) 奥山 多恵子／文・絵 福音館書店

雪が消えたばかりの地面の上にスプリング・
エフェメラルが顔を出した。地上に姿を現す
とすぐに花を咲かせ、林の
木々が目覚めて葉を茂らせ
る前に、大急ぎで実を結び
養分をたくわえるんだ。誰
よりも早く春を知らせる妖
精たちをみつけに行こう。

